

## 環境リサイクルで 社会に貢献



株式会社 札幌油脂

今回取材した株札幌油脂は、廃食油の収集・リサイクルを専門に行う会社です。

事業区分としては、産業廃棄物収集運搬・処分業に分類されますが、主に廃食油を回収してリサイクルする会社で、同業は道内でも少なく、後志においては株札幌油脂が唯一の専門会社です。お客様は小樽・後志はもとより、旭川、函館、苫小牧、札幌、室蘭など道内のほぼ全域になります。

取材を受けていた、千葉専務の祖父が会社の創業者で、昭和40年代から札幌で廃食油の収集を始めた小樽に貢献したいとの強い思いで、平成2年、錢函工業団地に現会社を設立しました。

その後、食品リサイクル法の施行によりお客様から廃食油の処理に関する問い合わせや、多くの要望に応えて信頼と実績を重ねてきました。お客様は食品工場やスーパー、飲食店などで、10年ほど前からは、店舗でお弁当や揚げ物を調理、販売するようになつたコンビニエンスストアとの取り引きも増え、今では飲食

店と並ぶほどになつています。大手スーパー や チェーン の 飲食店だけではなく、個人の飲食店も利用が多く、創業時からご愛顧いただいています。また、同じ食用油でも冷めると固まるショートニングやラード、汚泥なども回収しています。回収する量は事業所によつて様々ですが、トラブル1台あたり30~40件を回り、回収する量は、2トンから3トン、ドラム缶10本程度になります。

「わたしたちは、陰からお客様を支える仕事です。お客様の営業に支障が出ないようスムーズに回収することを心掛けています」と、お客様のことを第一に考え、回収容器も一斗缶からドラム缶まで、容器の貸出や販売にも応えています。



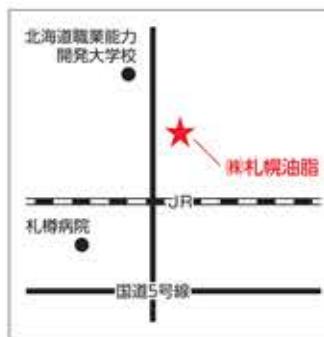
ISCC認証を取得しました

北海道企業初となるISCC認証を取得。ISCC認証とは、バイオ燃料の原料について熱帯雨林や泥炭地をプランテーション化した生産物（パームバージン油等）ではなく、かつ化石燃料と比較して温室効果ガス排出量が大幅に少ない燃料であることを証明するものです。現在、日本国内から廃食用油（使用済み食用油）は、約38万t排出されています。このほとんどが国内消費（リサイクル原料として使用）されていますが、約20%が相場の影響によって、輸出しているのが現状です。

ISCC認証の取得により、持続可能な燃料の原料として認められ海外へのリサイクルルートの選択肢を増やす結果になっております。



株式会社 札幌油脂  
小樽市銭函 3 丁目 522-6 TEL 62-7592  
営業時間 8:00~16:00 定休日 十・日・祝日



約15リットル保管できるフタ・バンド付の密閉容器です。上面が凸凹になっているので重ねて保管することができます。